

サステナビリティ  
レポート 2023

---

2024年3月

**ART COFFEE**

# はじめに

## ごあいさつ

アートコーヒーでは、企業理念である「コーヒーを通じて、お客様や社会、そして地球との豊かな共生を実現します。」のもと、SDGsへの貢献を目指し、2022年度にサステナビリティ委員会を発足しました。

コーヒー業界を取り巻く状況は、温室効果ガスの排出による気候変動の影響、生産地におけるコーヒー栽培に関連した環境破壊や汚染、生産者の労働環境、人権など、様々な課題を内包しており、それぞれに対して積極的かつ具体的な対応が求められています。

アートコーヒーは、これら課題に対応するため、社内目標を設定し、全社一丸となって活動に取り組んでおります。

## 目次

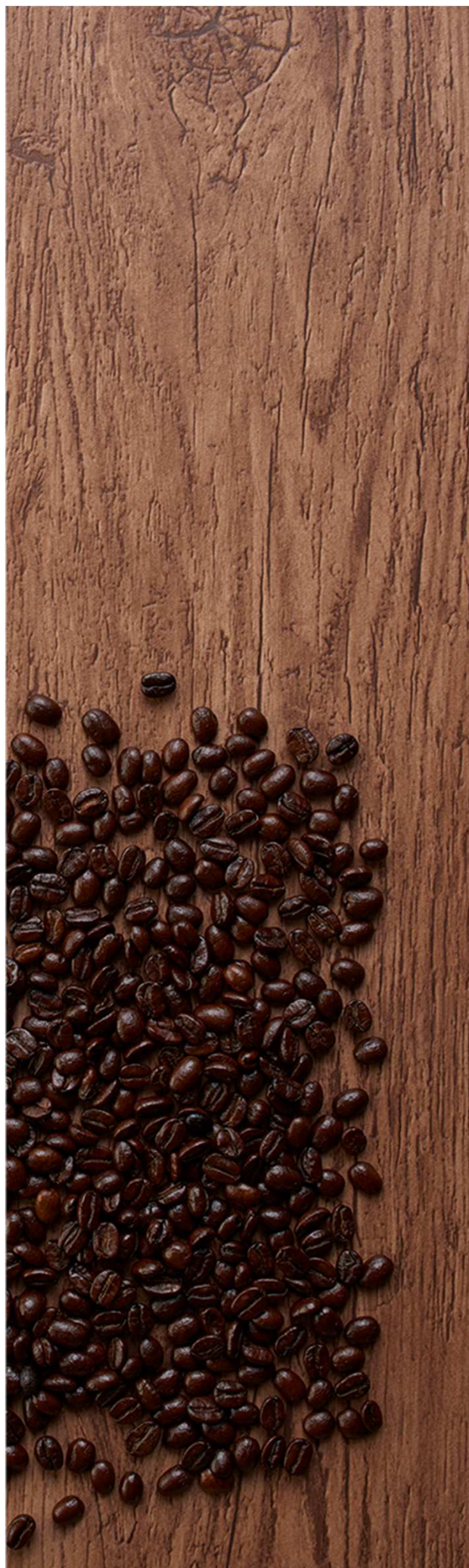
アートコーヒーが目指すサステナビリティ

01. スローガン
02. 推進体制

アートコーヒーのマテリアリティ

2023年度活動報告

01. 気候変動・自然環境改善への貢献
02. 持続的なサプライチェーンの維持
03. 高品質な製品・魅力的な価値提供
04. 多様な人材の活躍と繋がり
05. ガバナンスの徹底





# アートコーヒーが目指す サステナビリティ

## 01. スローガン

# Your Coffee Partner

“Your”は、お客様・お取引先様、社会、そして地球といった、アートコーヒーをとりまく大切な全てを指しています。

“Coffee”は、現地での生産から消費に至る全てのプロセスを結び付けるアートコーヒーのコーヒーです。

そして“Partner”は、ともに価値を育み、一緒に成長していく信頼関係を表現しています。

人々は長い歴史の中で、コーヒーから活気や安らぎを享受し、またコーヒーを囲んで大切な人との笑顔あふれる時間を過ごしてきました。

このコーヒーによって彩られた豊かな日々が未来に続くよう、このスローガンのもと、一人ひとりが「味の芸術(=コーヒー)」を追求し、寄り添い、向き合い続けながら、全てのステークホルダーと一丸となって行動を起こしていきます。

## 02. 推進体制



アートコーヒーでは、サステナビリティへの対応を全社的かつ組織横断的なものとし、円滑かつ効果的に推進することを目的として、親会社であるユニカフェと合同で、上図のようなサステナビリティ推進体制で活動を行っています。

活動の運用管理をサステナビリティ推進室が行い、具体的な取組みの遂行は各本部からメンバーを選出したサステナビリティ委員会が行います。推進室と委員会とで定期的に進捗報告会を行い、連携を図っています。



# アートコーヒーのマテリアリティ

## マテリアリティの特定意義

アートコーヒーは、従来からSDGsの17の目標を意識した事業活動を推進しています。しかし、ここ数年で社会課題への対応が更に緊急性をもって求められています。

こうした中、アートコーヒーが持続可能な企業であり続けるためには、社内外のより多くの皆様のご意見を反映した目標を持ち活動を続けて行くべきだとの想いに至り、今回新たにマテリアリティの策定を行いました。

アートコーヒーはYour Coffee Partnerのスローガンのもと、皆様とともにマテリアリティの実現を目指してまいります。

## マテリアリティ特定までのプロセス

- 1. 課題の特定**  
GRI、SASBなどの国際基準に準拠した様々な観点から、コーヒー業界に関わる社会課題を抽出しました。
- 2. 社内ヒアリング**  
従業員、役員に対してアンケート調査を行い、アートコーヒーへの期待、取り組むべき課題等への認識を確認しました。
- 3. トレンド予測など外部環境分析**  
2050年までの世界を取り巻く状況がどのようになるか、予測文献などを参考に、今後会社として取り組むべき視点、事項を確認しました。
- 4. 社外インタビュー**  
1～3の結果をもって、ユニカフェグループのお取引様へインタビューさせていただき、グループに期待すること、今後取り組むべき課題等についてご意見をいただきました。
- 5. 重要度評価・マテリアリティ特定**  
社内外の調査結果を踏まえ、会社にとっての重要性と外部ステークホルダーにとっての重要性の2軸で重要度を評価の上、マテリアリティを特定しました。

\*1.GRIとは……企業が経済、環境、社会に与えるさまざまなインパクトについて情報提供の際に用いられる国際的な規準の一つ。

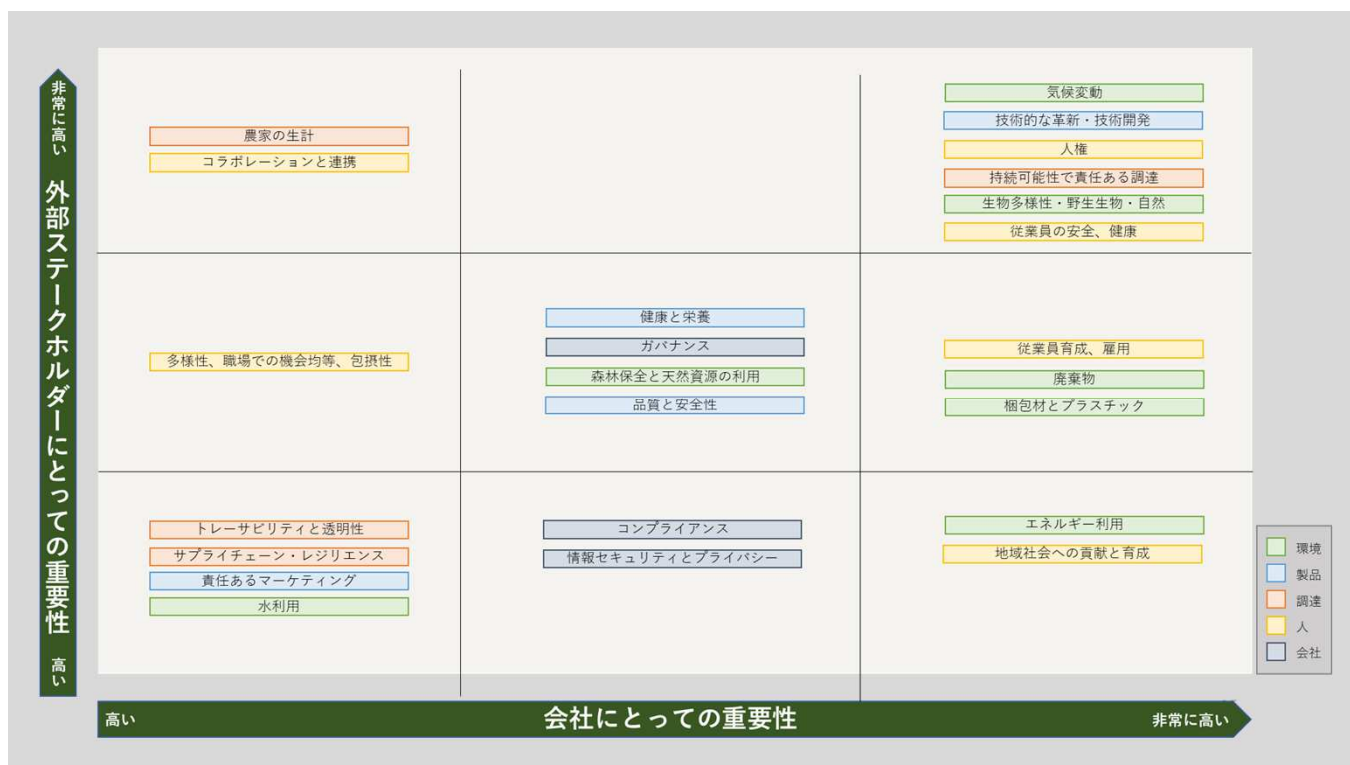
\*2.SASBとは……非営利団体「サステナビリティ会計基準審議会」の略称であり、当審議会が企業の情報開示の質向上のために設定したESG要素に関する開示基準。

## マテリアリティ・マップ(重要度評価)

5つのプロセスを経て、アートコーヒーでは社内・社外にとっての重要性を2軸として重要度を評価しました。

検討したどの課題も、社会的な重要度は高いため、対応する課題を絞るのではなく、評価軸の幅は最低でも“高い”、最重要課題を“非常に高い”としました。

その上で優先度をつけながらも全ての課題に対応してまいります。



## マテリアリティ

上記評価を鑑み、アートコーヒーのマテリアリティとして以下の5つを策定しました。



気候変動・自然環境改善への貢献

気候変動を緩和し、自然環境を改善するためにできることを実施します。



持続的なサプライチェーンの維持

コーヒー産業の維持・発展のため、サプライチェーンの現状を見つめ、未来に向けた再構築を行います。



高品質な製品・魅力的な価値提供

お客様・消費者に寄り添い、時代に合った価値を提供できるよう、製品や新分野の開拓に努めます。



多様な人材の活躍と連携

ここで働く誰もが心身ともに健康的に人生と仕事を両立し、地域やパートナー様により良い影響をもたらします。



ガバナンスの徹底

全てのステークホルダーのために、自律的に、かつ透明性を持って統制します。

# 2023年度活動報告



## 気候変動・自然環境改善への貢献

気候変動を緩和し、自然環境を改善するためにできることを実施します。

### GHG排出量を削減する



アートコーヒーでは、2025年までにScope1・2での温室効果ガス(GHG)排出量を46%削減、2040年までにScope1・2・3を100%削減(2019年比)することを目標に掲げています。

2019年からこれまでの間に、2021年に自社工場を閉鎖し、外注への委託製造に切替えたため、Scope1・2でのGHG排出量は既に99%を削減しています。

2023年は、2月より再エネ電力を使用したオフィスへ移転することで、2022年比で更に2%のGHG排出量を削減しました。

### 廃棄物を減らす



2023年度より、従業員が使用する名刺を、コーヒーの抽出かすを配合し、紙自体も使用量を削減した、環境配慮型の名刺へ変更しました。

ユニカフェグループで発生したコーヒー残渣(割れ豆、欠け豆、微粉、チャフ等)のうち、再利用されなかったものは、磯沼ミルクファームへ無償提供しています。

こちらの牧場では、これらコーヒー残渣を飼育している動物たちの寝床や、堆肥の原料として再利用しており、焼却や埋め立て処分をせずリサイクルすることができています。

寝床では、コーヒーの消臭効果により動物たちのにおいが抑えられるメリットもあり、重宝していただいています。

アートコーヒーでは、エコキャップ活動に参加しています。

この活動では、飲用後のペットボトルのキャップを捨てずにエコキャップ推進協会に寄付することで、キャップは再生プラスチック原料として回収され、その際の収入で医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動に充てられています。

累計のキャップをゴミとして焼却した場合のCO2発生量は、792.07Kgとなり、CO2発生量削減にも貢献できたこととなります。





## 持続的なサプライチェーンの維持

コーヒー産業の維持・発展のため、サプライチェーンの現状を見つめ、未来に向けた再構築を行います。

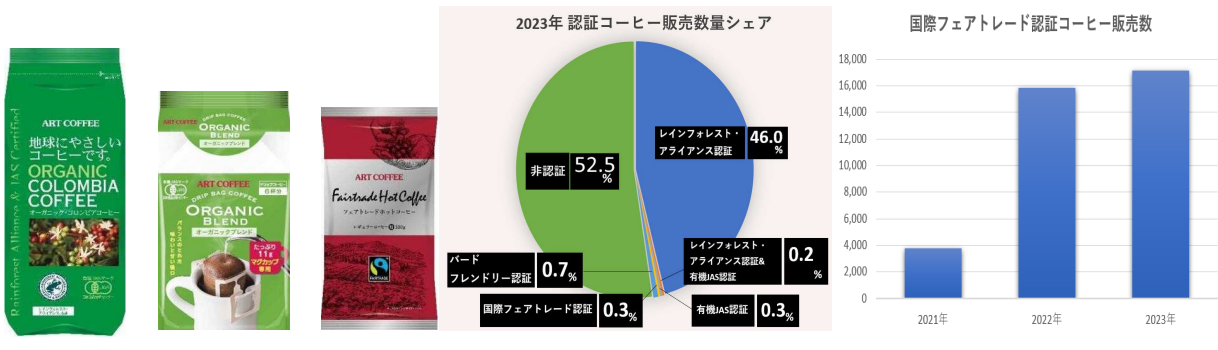
### 責任ある調達を行う



### 各種認証製品の取り扱い強化

アートコーヒーでは、有機JAS認証、レインフォレスト・アライアンス認証、国際フェアトレード認証、バードフレンドリー認証を取得した原料を使用した製品の取り扱いをしており、年間製造数量の約半数が上記認証豆を使った製品となっております。

2022年には国際フェアトレード認証製品のリニューアルを行うなど、持続可能な社会の実現に向け、自然環境や生産者へのサポートなどに対するお客様の意識の高まりに合わせ、取り組みの強化を図っています。



### ブラジルでの農法指導支援に関する取り組み

昨今の気候変動の影響を受け、コーヒーは収量の減少、病害虫による被害のリスクが高まっており、コーヒー生産者の持続的な産業維持が脅かされています。

アートコーヒーでは、imperfect様の協力のもと、ブラジルのコーヒー生産者の持続可能なコーヒー生産をサポートすることを目的として、気候変動・病虫害に対する耐性を高める農法指導を継続的に行うこととしました。

初年度となる2023年度は、Esprito Santo do Pinhal 地区-Sao Paulo 州及び Incofidente 地区-Minas Gerais 州\*の農家に対して農法指導を実施しました。

10月にはIncofidente 地区-Minas Gerais 州の農家10名に対してIPDM 農法(総合的病害虫管理農法)の指導を実施し、病害虫の種類、習性、適切な管理方法(駆除方法、病害虫に強いコーヒー品種紹介、適切な農薬使用方法等)について、座学と実践双方から学ぶことで、効果的に農薬使用減らし、コーヒーの木の健康状態を維持、単収・収益性向上にもつながる知識を習得してもらいました。



## 女性農園主支援プロジェクト「Café Delas」

ブラジルの女性農園主を支援するプロジェクト「Café Delas」の取扱いを強化しました。「Café Delas」は、農業主の中でも立場が弱い女性に対し、情報・コミュニティの提供、プレミアムの上乗せによる収入支援を行うことができます。

また現地の有資格者(Qグレーダー)が認定したスペシャルティ・コーヒーのみが対象となるため、品質・風味においても優れています。優れた農法の習得やコモディティとの差別化により、女性たちに持続的かつ自立した農園経営のスキルを身につけることができる本プロジェクトは、女性のエンパワメントのみならず、コーヒー業界全体の課題解決の一助として貢献をしています。

2023年は、賛同企業様ご支援のもと、約10tを納品し、売り上げの一部を女性農園主に還元しました。



### 高品質な製品・魅力的な価値提供

お客様・消費者に寄り添い、時代に合った価値を提供できるよう、製品や新分野の開拓に努めます。

### 健康などに配慮した機能・高付加価値製品の提供



#### 機能性食品の研究開発

少子高齢化が進み、認知症、肥満、糖尿病、精神疾患などの増加が予測されています。

そんな中、出来るだけ長く健康的なシニア期を送ること、介護者・被介護者が出来るだけ快適に過ごすこと、それらに備え、若いうちからでも心身共に健康を保つためにできるセルフケア、といった側面にますます関心が寄せられています。

これら現代人の課題に対し、私たちにできることはないだろうか、と考え、持続可能な未来に向けて、健康配慮製品の提供を目標の一つとして掲げ、商品開発を進めています。



### 多様な人材の活躍と連携

ここで働く誰もが心身ともに健康的に人生と仕事を両立し、地域やパートナー様により良い影響をもたらします。

### 人権尊重への取組み



#### 人権・ハラスメントに関する教育研修の実施

多様性を尊重し、受容し、一人ひとりに合った公正な環境を提供することで、全ての人々が自分らしく自己実現できる世の中が求められています。

これまでの価値観や概念が大きく変わる側面もあり、新しい社会の考え方に柔軟に順応できるよう、従業員へ毎年1回、人権やハラスメントに関する教育研修を実施しています。



## キャリアビジョンを明確にした人材育成の推進



### 教育体制の充実

これまで、従業員の自主性に応じて自由に選択できる教育プラットフォームの提供や、コーヒーに関する専門知識やスキルを習得できるよう、外部研修や社内外の資格取得を支援してまいりました。

今後はさらに、等級や役職、各現場での必要性に即した、段階的かつ細やかな研修体制を整備し、一人ひとりの成長とキャリアプランに合わせたサポートを行います。

個々人の力の底上げにより、会社全体の成長につなげてまいります。

### メンター制度の充実と向上

若手の育成・サポート、また中堅社員の指導力向上のため、一般的なメンター制度について振り返りつつ、現状社内で行われているメンター制度について実態調査を行いました。

調査により、制度の効果を改めて認識するとともに、更なる効果を期待できる運用面の改善点を取り纏め、制度のブラッシュアップに努めています。

### 勉強会の実施

コーヒーのプロフェッショナルとしての知識向上と、各部署の業務内容に関する相互理解を深めることによる業務効率化とリレーションシップ強化を目指し、不定期でオンライン勉強会を開催しています。

WEBの便利機能(リアクションやアンケートなど)の積極的な活用でリテラシーを高めるとともに、アットホームな雰囲気を育むことで社内コミュニケーションの強化にも貢献しています。

## 多様な人材が活躍できる労働環境の整備



### 各種休暇取得の奨励

アートコーヒーでは、従業員のワークライフバランスを保つため、各種休暇制度を設けています。

例えば有給休暇の取得を奨励し、休暇を取りやすいよう、また計画的に休暇を取得するように働きかけています。

また、育児休暇に関しては、特に男性による制度活用の浸透を図り、希望する方に気兼ねなく活用してもらえるような働きかけを行ってまいります。



### ガバナンスの徹底

全てのステークホルダーのために、自律的に、かつ透明性を持って統制します。

## コンプライアンスを遵守した企業活動



アートコーヒーでは、各種法令を遵守した企業活動を行うべく、年1回、全従業員を対象として、法令違反のケーススタディに則ったチームディスカッションと、オンラインによる研修を実施し、コンプライアンス遵守に対する意識を高めています。

また、年1回の情報セキュリティ研修の実施とともに、不定期でウィルスメールを模したメールを配信する等して、実践的な訓練を行っています。



**ART COFFEE**

株式会社アートコーヒー発行(2024年3月)